



宮越家所蔵
ステンドグラス作家 小川三知 作
「十三湫景観」

青森県中泊町 福祉課 課長補佐 成田
総括主幹 長内

目次

1. 中泊町の概要

- ・中泊町の人口遷移
- ・要介護認定状況について

2. 中泊町の特徴的な取り組み

- ・ワイズ・パークの取り組み

3. 中泊町の事業所数、利用者数について

4. 基準該当居宅サービス、離島等相当サービスの対象地域 適用状況

5. 介護事業所等の声

6. 町からの提案

1. 中泊町の概要



○小泊地域



旧小泊村。漁業が盛んな地域。津軽海峡メバルやイカ、マグロなどが有名。
中山間地域に指定されています。

○中里地域



旧中里町。農業が盛んな地域。お米の他、野菜やブルーベリーなどが有名。
中山間地域ではありません。

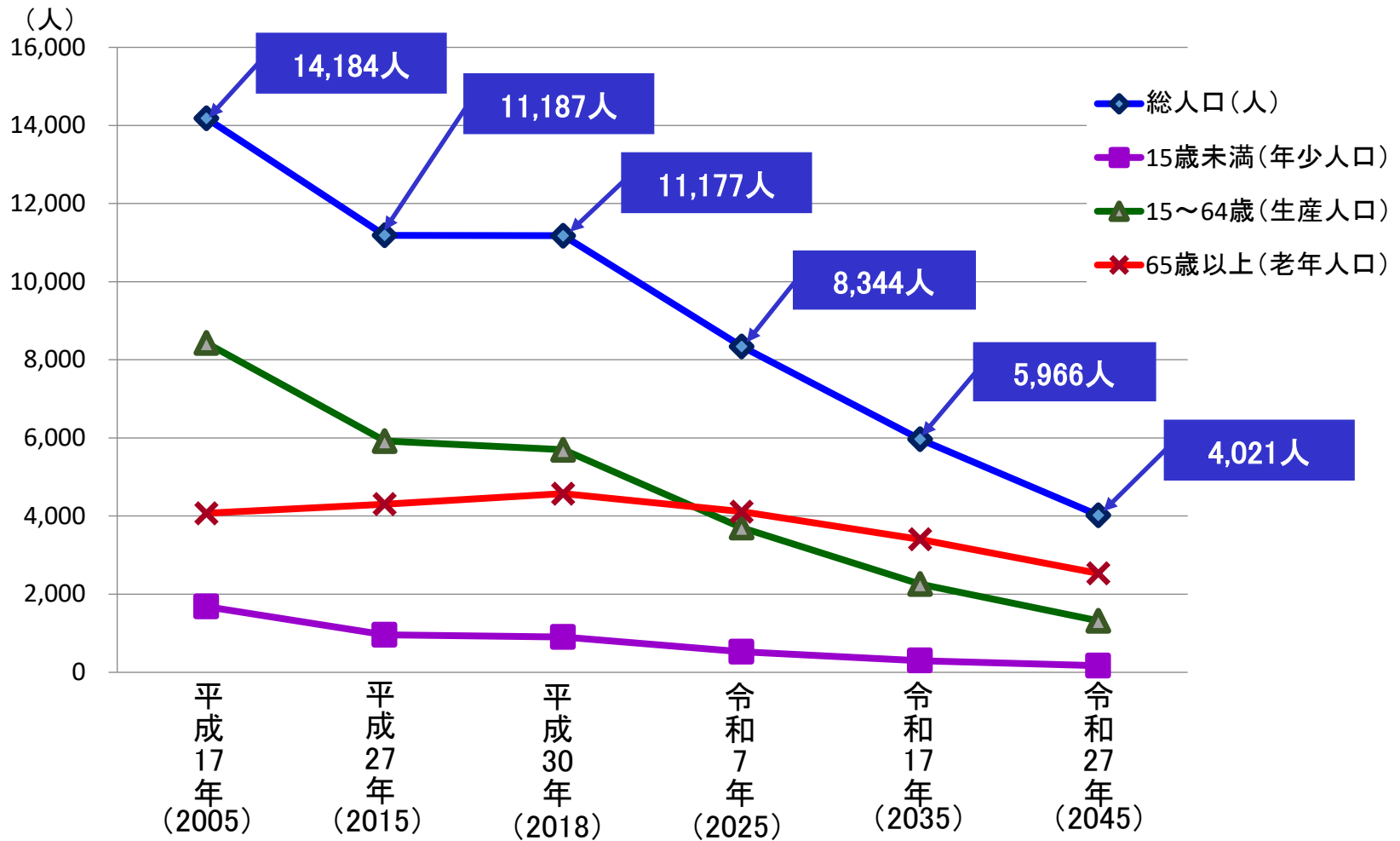
○令和7年12月現在(速報値)

人口9,136人 高齢化率49.2% 介護保険認定率19.11%



中泊町の人口遷移

(資料: 国勢調査、社人研ほか)



総人口は右肩下がり急激に減少しており、令和27年には4,021人、高齢化率は63%にまで増加すると推測されています。老年人口も減少に転じましたが、その減少スピードは比較的緩やかです。



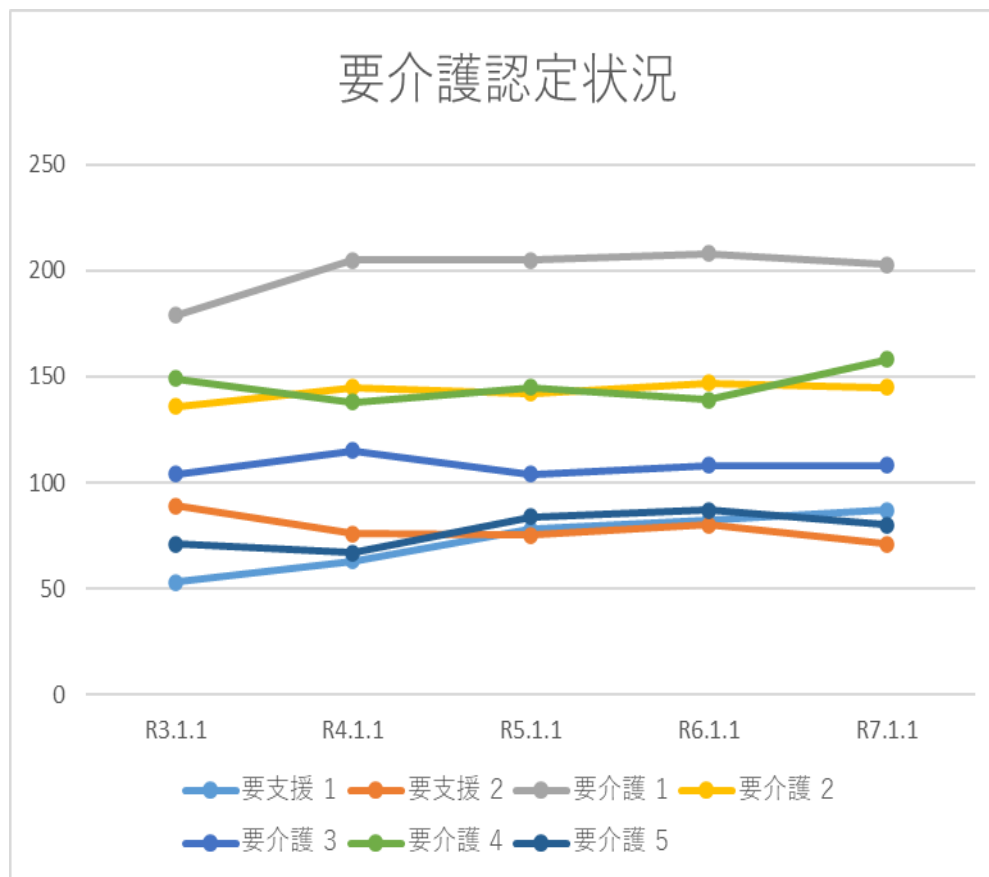
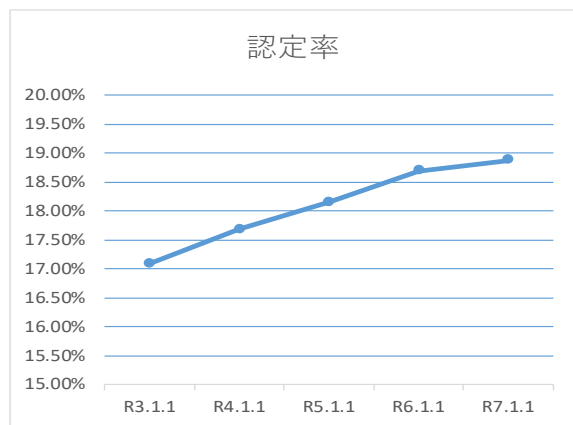
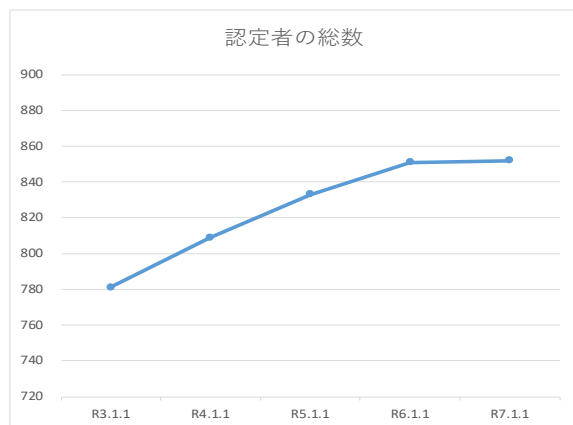
要介護認定状況について (2号被保険者を含む)

	R3. 4. 1	R4. 4. 1	R5. 4. 1	R6. 4. 1	R7. 4. 1
認定者の総数	781	809	833	851	852
要支援 1	53	63	78	82	87
要支援 2	89	76	75	80	71
要介護 1	179	205	205	208	203
要介護 2	136	145	142	147	145
要介護 3	104	115	104	108	108
要介護 4	149	138	145	139	158
要介護 5	71	67	84	87	80
認定率	17. 09%	17. 69%	18. 15%	18. 70%	18. 88%
高齢者人口	4, 569	4, 573	4, 589	4, 552	4, 513

要介護認定率は、令和3年度当初は17.09%でしたが、令和7年度当初には18.88%になりました。
令和7年12月現在では19.11%と、増加傾向にあります。



要介護認定状況について (2号被保険者を含む)



要介護認定者数は横ばいで推移していますが、高齢人口の減少に伴い、認定率は上昇傾向です。特に要介護度が高くなる傾向のある、75歳以上の認定者が増加傾向にあります。



2. 中泊町の特徴的な取り組み

令和6年2月6日 中泊町総合福祉健康センター 湯らぱーく 開館



「湯らぱーく」は、温泉施設やレストラン、ジム、集会所機能などを併設した、健康のための複合施設となっています。

ワイズ・パークの取り組み

リハビリ特化型デイサービスのほか、介護予防のための運動なども提供しています。

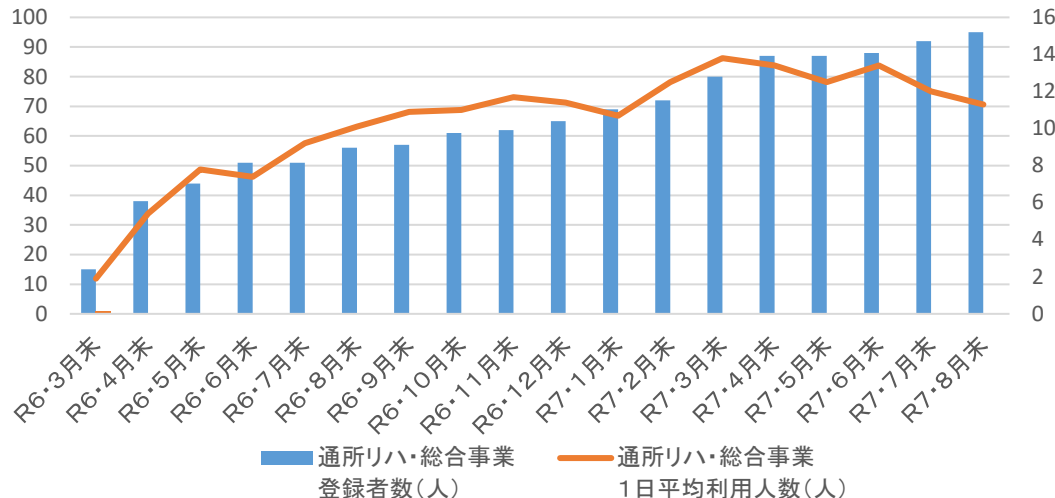


エクササイズで体を動かす楽しみを感じてもらうだけでなく、グループレッスンなどを通して、楽しいコミュニティの形成を目指しています。



転倒予防などの日常生活動作の向上や、脳の活性化を目指し、姿勢・動作分析などに基づき、皆さんひとりひとりにあった運動を提供します。

登録者・利用者の推移



令和6年3月27日より事業開始したワイズ・パーク青森中泊店ですが、3月末には登録者15名、利用者1日平均1.9名と少し寂しいスタートでした。しかし、令和7年8月末には登録者95名、利用者1日平均11.3名となり、増加してきています。

＜＜利用者の声＞＞

利用者アンケートの結果では、「気持ちよく運動できる」「楽しい」「みんなと仲良くできる」など、満足度が高いという回答がほとんどでした。



足湯の後の体操で指が開くようになり、歩くとき足に力が入るようになった！



いろんな人と知り合えて楽しみができました。要点をトレーナーさんが教えてくれるので効果を実感。



適度な料金で家では絶対できない貯筋(チョコキン)ができ、大変満足しています。始めてよかった！

みんなが安心して健康的に暮らせる町づくりに寄与します

3. 中泊町の事業所数、利用者数について

○事業所数

分類	施設名	事業者名
訪問介護	中泊町社会福祉協議会	(社福)中泊町社会福祉協議会
	内潟療護園ホームヘルプセンター	(社福)内潟療護園
	花まる訪問介護	(株)ダイキ
有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム花まる	(株)ダイキ
通所介護	中泊町社会福祉協議会小泊通所介護事業所	(社福)中泊町社会福祉協議会
	内潟療護園デイサービスセンター	(社福)内潟療護園
	デイ・サービスセンター宝森	(有)修清
	デイサービスやすらぎの里	(社福)向明会
	竹山荘デイサービスセンター	(株)ルーツ
	花まるデイサービスセンター	(株)ダイキ
	ワイズ・パーク青森中泊店	(株)AKカンパニー
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム静和園	(社福)奥津軽会
	特別養護老人ホーム幸	(社福)向明会
	特別養護老人ホームきりん館	(社福)内潟療護園
グループホーム	グループホーム宝森	(有)修清
	グループホーム八幡荘	(社福)奥津軽会
	グループホームやすらぎの里	(社福)向明会
	グループホーム泉の里	(株)ルーツ
	グループホームやまなみ	(株)平山建設
	グループホームさくら	(有)さくら
	グループホームすい賓荘	(有)恵成
	グループホームしおさい	(社福)中泊町社会福祉協議会
	グループホームなかさと	(社福)奥津軽会
小規模多機能型 居宅介護事業所	小規模多機能型居宅介護なかさと	(社福)奥津軽会
	プラットフォームさくら	(有)さくら

※ 青色の網かけ部分が、小泊地域に所在する事業所です。

○利用者数

(単位 人)

	令和7年8月
	令和7年10月支払分
受給者等の総数 ①+②+③	660
① 居宅 計	334
支援 1	21
支援 2	30
要介護 1	105
要介護 2	95
要介護 3	31
要介護 4	36
要介護 5	16
② 地域密着型 計	156
グループホーム	127
介護老人福祉施設	29
③ 施設 計	170
介護老人福祉施設	109
介護老人保健施設	35
介護医療院	26

注 原則として実利用人数としている。

令和6年度中に訪問介護事業所が1か所、有料老人ホームが2か所閉鎖したものの、比較的事業所数は充足しています。しかしながら利用者数も多く、地域密着型や老人福祉施設についてはいまだ待機者が生じている状況です。



4. 基準該当居宅サービス、離島等相当サービスの対象地域、適用状況

①基準該当居宅サービス

町内全域を対象地域としているが、今のところ町内全ての事業所が指定サービスの基準を満たしている。

②離島等相当サービス

小泊地域が中山間地域に指定されており、対象地域となっているが、今のところ小泊地域の全ての事業所が指定サービスの基準を満たしている。

ただ現実的に小泊地域に事業所は少なく、中里地域の事業所が対応する必要があるが、中里地域の事業所には離島等相当サービスが適用されないため、今後のサービス提供体制に不安がある。

①の基準該当居宅サービスについても、②の離島等相当サービスについても、介護事業所においては、現状全ての対象事業所が指定サービスの基準を満たしており、利用されていません。
しかしながら、当地域において介護職員の確保は非常に難しい状況にあります。人員の不足により閉鎖や縮小に追い込まれた事業所もあり、今後は対象地域の調整など、より柔軟な運用が必要になってくると思われます。



5. 介護事業所等の声



訪問事業については、移動コストについても介護報酬に反映してほしい！
事業所のある中里地域から利用者のいる小泊地域まで車で片道40分かかります。高い燃料費をかけて利用者のもとに向かって、買い物などについて家にいないことも…時間と人が無駄になることもあります。

基準該当居宅サービスや、離島等相当サービス等の導入により、人員配置基準の緩和が進むと、今いる職員はますます忙しくなるのでは？
地方では介護職員の確保が本当に大変。とはいえ、今でも忙しいのに実質的に人員を減らしたら、ますますやめる人が増えるのでは？と考えるとなかなか導入は難しいと思います。

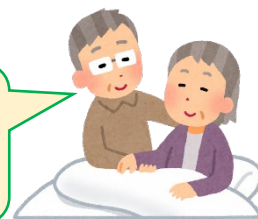


小規模事業者でも事業が継続できるような制度にしてほしい。
小さな事業所の中には、職員が60歳台から70歳台の職員だけで運営している場合もあります。新しく設備投資はできないし、制度が難しいと対応できない。これ以上施設運営の条件が厳しくなると、いよいよやめるしかないのか…

○利用者の声

いつまでもこの地域に住み続けたい。

生まれ育ったこの町には、慣れ親しんだご近所さんや景色がたくさんあり、何より安心できます。二人で助け合いながら、住みなれた家で最後まで静かに暮らしたいのです。それが一番の願いです。



6. 町からの提案

① 新たなサービスの対象地域を過度に限定しない

地域をまたいでサービス提供する事業所にとっては、事務が複雑化し、多くの手間がかかるようになる
と、同地域の事業所間で対応が違うなどの弊害も出てくる恐れがあります。対象とする中山間・人口減
少地域の特定にあたっては、地域の実情を踏まえ、幅広く検討いただければと思います。

② 人材確保やICT活用を絶対条件としない

人材確保やICT活用を絶対条件とすると、人材確保が非常に難しい地方の事業所、特に高齢職員の多
い小規模事業者は事業自体が成り立たないと思い、施設閉鎖へとつながってしまうのではないかと
いう懸念があります。より柔軟な運用をお願いします。

③ わかりやすいマニュアルやガイドラインが必要

事業所が事業を進めるうえで指標となるマニュアルや、事業所や自治体が留意すべきガイドラインの
設定が必要であると思います。より、簡便でわかりやすいものであると助かります。
(例：事業所による導入までの手続きの実例やフローチャート、確認用チェックシート等)

○町が思うこと

地方における訪問系サービスの提供にあたり、移動コストを考慮することが必要であると考えます。事業所がサ
ービス提供を継続できるよう、現在検討中の訪問系サービスにおける包括的な評価の仕組みについては、できる
だけすみやかに導入して欲しいと思います。

また、基準該当居宅サービス、離島等相当サービスについては、制度を導入することによる事業所側のメリット
が、デメリットを上回るような制度設計をお願いします。

最後に、中泊町は「いつまでもこの地域に住み続けたい」という町民の期待にこたえるよう、これからも「大地の
恵と海の幸 心ひとつに希望のまち」を目指していきたいと思います。





春
秋

夏
冬



ご静聴ありがとうございました